

一般会計決算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、9月13日に産業建設分科会を開催しました。

認定第1号平成29年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、きびじつるの里の在り方について、管理方法や経費の面で以前から指摘をしているが、十分な改善がなされていないため、認定できないと異議がありました。

～質疑～

問：カーブミラーの設置実績はどうか。
答：平成28年度未実施分が57件、平成29年度新規要望が29件あり、合計86件の要望に対して、23件の設置を行った。未実施は63件である。
問：土木担当員からの道路の修繕、改修の要望に対する執行率はどうか。
答：土木工事要望について、平成28年度分の残りとして1397件、平成29年度の新規要望で699件あり、合計2096件の要望に対して、完了件数は519件、要望残は1577件となっている。
問：土木担当要望は毎年度新しいものが出てくるが、過去の要望はどうなるのか。緊急性が高いものや、優先度が高いもの等は、どのように取り扱っているのか。長期にわたって積み残されてしまう要望が出てくるのではないか。
答：随時、土木担当員と協議しながら進めている。
問：現状で、ゴミの増減はどうか。ゴミ袋の変動相場制を前提とした値段の見直しについてはどう考えているのか。
答：災害ごみを除いて、家庭ゴミの量は横ばいと考えている。ゴミ袋の値段は3年に1回の見直しを行っており、次回の見直しに向けて、人口、世帯数、ゴミの量を考慮して検討していく。
問：市営住宅使用料について、収入未済が約6,000万円あるがどのような状況か。不納欠損はあるのか。
答：平成5年度からの滞納がある。不納欠損処分は入居者の方が亡くなられた時等に行っている。
問：集団の農家には補助があるが、個人で農業をしている方への補助はないのか。高齢者もおりどう考えるのか。
答：営農組合等への補助はあるが、個人に対する補助は行っていない。認定農業者に対しては、個人であっても低利の融資制度がある。工夫して集団化して低コストでやっていただきたい。

問：ため池の耐震診断等を行なっていくのか。その他、チェックは行なっていくのか。

答：現在その予定はない。平成25年度から平成27年度にため池の危険度調査を行なっている。要監視のところは3箇所あった。地元とも協議し対応している。

問：カルチャーセンターは建築後60年経つが今後のあり方はどうか。

答：昭和31年12月1日建築である。利用の要望もあるが、耐震化の問題もあり公共施設のあり方として検討が必要と考えている。

問：観光客の実績は。予算はほとんど変わっていないがどうか。県内向けや県外向けのポスターを作ってはどうか。観光誘致を進めて欲しいが。

答：平成29年度は77万5千人、平成28年度は77万3千人であり、微増である。観光プロジェクト実行委員会の提言から10年の節目となる。観光行政がどうあるべきか検証をしている。日本遺産の認定もあったので、ポスターも含め検討していく。

問：斎場の利用状況はどうか。市外の利用状況はどうか。

答：足守や高松の方の利用がある。それ以外の方の利用も多少ある。現在、高梁市の斎場が使えないため、1日2件までで受け入れを行っている。